

読書のまち・かわさき通信



読書のまち・かわさき

2018年4月 発行 川崎市教育委員会 No.80

平成30年度も、「読書のまち・かわさき」の取組へのご理解ご協力を、よろしくお願いいたします。

「読書のまち・かわさき」とは・・・

平成16年4月に「読書のまち・かわさき」子ども読書活動推進計画が策定され、川崎の読書活動推進のために継続的な事業を展開してきました。今年度も川崎の子どもたちの読書環境向上に向けて様々な活動を行っていきたいと考えています。

平成30年度 主な事業内容について

★全市図書ボランティア研修会

(作家等の講師をお呼びしての講演会)

第1回7月 3日(火) 中原市民館

第2回1月15日(火) 中原市民館

- ・全市の図書ボランティアの皆様や、市民の皆様どなたでも参加できます。



★かわさき読書週間 10月28日(日)～11月10日(土)

- ・各学校での読書活動の推進
 - ☆ボランティアや図書委員会児童生徒による読み聞かせや全校一斉読書、また読書集会など、学校の特色を生かした取組をします。
 - ☆市内児童生徒を対象に、読書標語やポスターなどを事前に募集します。
- ・各区公共図書館での読書イベントの開催(読み聞かせ・おはなし会等)
- ・読書週間ポスター・チラシ配布

★かわさき読書の日のつどい

11月4日(日) 中原市民館

- ・読書活動優秀団体表彰
- ・児童生徒読書活動作品展示
- ・作家と子どもたちとの交流などを行います。



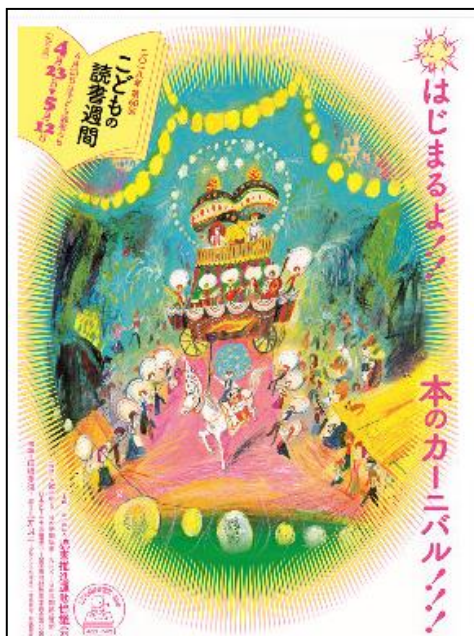
★川崎フロンターレと本を読もう事業

★子ども読書カレンダー配付など・・・

他にもたくさんの事業を計画しています。



4月23日～5月12日は『こどもの読書週間』、 4月23日は『子ども読書の日』です



こども読書週間とは・・・

子どもたちにもっと本を、もっと本を読む場所をとの願いから、「こどもの読書週間」は昭和34年に誕生し



ました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、こどもの読書への関心の高まりを受けて、「子ども読書年」である平成12年(2000年)より現在の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日に期間を延長しました。開始当時より、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡すさまざまな行事が行われてきました。さらに、平成13年12月に公布・施行の「子ども読書活動推進法」により4月23日が「子ども読書の日」となった影響もあって、年々大きな盛りあがりを見せています。

2018年「こどもの読書週間」の標語は、「**はじまるよ!!本のカーニバル!!!**」です。

みなさん「家読(うちどく)」という言葉をご存知ですか。子どもの読書習慣を形成するには、家庭でも、大人と子どもと一緒に読書を楽しむ環境をつくるのが大切です。川崎市では、家庭における読書活動「家読(うちどく)」を推進するため、各家庭での「親子読書の日」の設定を促すなど、親子で本に親しむきっかけとなるよう、広報誌等で啓発していきます。学校教育において読書活動がすすめられています。家庭での読書のすすめも非常に大切なものだと考えます。

「家読(うちどく)」には、特別なルールはありません。家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話すことが基本のルールです。例えば、家族で同じ本を読んだり、家族で互いにおすすめの本を紹介したりするなど、家族で自由に読書スタイルを考えてみてはいかがでしょうか。

【お知らせ】 「総括学校司書」と「学校司書」について

「総括学校司書」は、かつての「学校図書館コーディネーター」(巡回型の学校司書)と同様の仕事内容で、区内の学校図書館を巡回し、支援していきます。「学校司書」とは、専ら一つの学校図書館の業務に従事する方のことで、27年度より学校司書配置モデル事業がスタートしました。このモデル校の取組は読書のまち・かわさき推進事業の新規事業となっています。今年度は各区3校から4校に増え、ますます学校図書館の充実が期待されるそうです。

「総括学校司書」と「学校司書」で、名称や取組は異なりますが、いずれも、学校図書館の活性化や子どもたちの読書活動の推進のための活動に取り組んでいます。